

技術の向上のために



桜田・南敷チーム(小型ポンプの部 優勝)



台方チーム(ポンプ車の部 優勝)

市内の消防団員が日々の鍛錬の成果を競う「成田市消防操法大会」が10月23日、大栄B&G海洋センター運動場で開催されました。競技はポンプ車の部と小型ポンプの部の2部門で、実際に放水を行わない「空操法」で実施。参加した31チームの消防団員による規律の取れた操法技術が披露される度に、惜しめない拍手が送られていました。

主な成績

ポンプ車の部	優勝	台方	準優勝	土屋	第3位	宗吾
小型ポンプの部	優勝	桜田・南敷	準優勝	大栄十余三	第3位	川上

▶ 成田ブランドの構築を目指して⑨

“オール成田”へ、テークオフ!

成田ブランド推進プロジェクトチームは、昨年10月の羽田空港の再国際化によりクローズアップされた、成田に対する「遠い、不便」といったマイナスイメージを払しょくするため、新たなご当地グルメの開発やロケの誘致活動を通じて、空港と地域が一体となった新たな魅力をPRしてきました。

そうした活動の状況を広く市民の皆さんにお知らせするために連載してきた「成田ブランドの構築を目指して」と題したこのコーナーは、今回で最終回となります。

市では、今後も成田ブランドの構築に向けた取り組みを継続するとともに、市民の皆さんと協働しながら全市的な取り組みへと発展させるため、意欲的な活動を続けていきます。
※くわしくは企画政策課(☎20-1500)へ。



成田の新たな魅力を創出するために

2011NARITA花火大会in印旛沼

夜空に咲く花



夜空を彩る花火

8,000発の花火が秋の夜空を鮮やかに染め上げる「2011 NARITA花火大会 in 印旛沼」が10月15日、八代地先の北印旛沼湖畔で行われ、会場に約6万人の観客が訪れました。開始前まで雨が降っていましたが、なんとか天気は持ち直しました。夜空には大輪の花火が咲き誇り、印旛沼はその花火の色で照らされ、幻想的な風景に。被災地の復興祈願として「届け！成田の元気玉」をテーマに2尺玉が打ち上げられ、クライマックスの「NARITA黄金伝説」は、その名の通り夜空を金色に輝かせ、観客は感動した様子で歓声を上げていました。

秋の文学講座

軽妙な口調で語られる
エピソードの数々

大勢のファンを前に講演する林さん

直木賞作家である林真理子さんを迎え10月18日、「秋の文学講座」が市立図書館で開催されました。「小説を書く時間」と題したこの講演では、林さんが執筆活動や自身の生活に関するエピソードの数々を披露。軽妙な口調で語られる小説家の日常に、参加者は静かに耳を傾けていました。

成田弦まつり

和の旋律に耳を澄ませて



津軽三味線大演奏には約2,200人の聴衆が

成田の秋の風物詩「成田弦まつり」が10月22日・23日、表参道を中心に開催されました。雨のため一部の屋外イベントが屋内で行われるなど、天候の影響が心配されましたが、一番の見どころとなる「成田山奉納津軽三味線大演奏」は予定通り大本堂前で実施。大勢の聴衆が見守る中、46団体150人の奏者による息の合った演奏が披露されました。会場となった表参道では、弦楽器の演奏のほかに商店会による即売会などが行われ、訪れた人たちが買い物を楽しみながら弦の音色を堪能していました。



参道の各所で演奏が披露された

健康・福祉まつり

役立つ情報が満載



パパがベビーマッサージに挑戦!!

健康チェックや体操などを通して、体調管理の大切さについて考えてもらおうと、10月15日・16日、保健福祉館で「健康・福祉まつり」が行われました。骨密度測定やストレスチェックなどのほか、親子で楽しめるそば打ち教室や工作教室などのイベントも盛りだくさん。初日

は、あいにくの天候でしたが、両日共に、会場は多くの家族連れでにぎわっていました。